



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）

平成17年7月25日

上場会社名 **株式会社シモジマ**

(コード番号：7482 東証第1部)

(URL <http://www.shimojima.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

(TEL:(03) 3862 8626)

下島和光

責任者役職・氏名 取締役経理部長

谷中浩三

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。
最近会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無
持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	9,923	5.9	707	4.7	772	3.7	424	4.3
17年3月期第1四半期	9,373	4.2	742	6.4	802	1.6	443	0.4
(参考)17年3月期	40,089	2.7	3,560	13.2	3,869	9.0	2,209	3.8

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第1四半期	17.50			
17年3月期第1四半期	22.41			
(参考)17年3月期	108.39			

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

2. 18年3月期第1四半期期中平均株式数 24,246,844株(1:1.2の分割後の株式数によっております。)

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期(平成17年4月1日～平成17年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加など景気の回復傾向が見られますが、一方では、米国及び中国を中心とした海外経済の成長鈍化や原油の高止まりなど、景気の先行きに不透明感も残しております。

このような状況のもと、当社は「お客様のニーズ」に迅速かつ的確にお応えすることを経営理念として商品開発及び提案型営業を展開してまいりました。

営業販売部門におきましては、フランチャイズチェーン政策(「パッケージプラザ」事業)における当第1四半期の新規出店は1店舗、増床を含めたりニューアルを5店舗おこないました。スーパーバイザーによる定期的な店舗指導のほか、定期的な統一売り出しをおこない売上高の増進を図りました。ディーラールートでは、生花・園芸及び花材業界への販売が引き続き好調に推移するとともに、更に新規販売ルートの開拓も順調に進んでおります。ユーザールートでは、提案型営業による専門店等への新規開拓が順調に進み、取引先の拡大及び売上高の増加を達成しております。この結果、営業販売部門の当第1四半期売上高は63億98百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

直営店販売部門につきましては、名古屋店が幅広い品揃えにより売上げを順調に伸ばしております。また、通販部門は関東、関西ともに順調に売上げを伸ばしております。この結果、直営店販売部門の当第1四半期売上高は35億24百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

これらの結果、全社の当第1四半期売上高は99億23百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

利益面では、海外・国内ともに化成品の原料価格が高騰し、販売価格への転嫁が限定的であったことから、全社の売上原価率は上昇いたしました。また、販売費及び一般管理費につきましては、小口配送の拡大により物流費が増加しております。

この結果、当第1四半期の営業利益は7億7百万円(前年同期比4.7%減)、経常利益は7億72百万円(前年同期比3.7%減)、四半期純利益は4億24百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	29,796	24,787	83.2	1,022.40
17年3月期第1四半期	28,479	23,277	81.7	1,175.57
(参考)17年3月期	29,805	24,659	82.7	1,220.42

(注) 18年3月期第1四半期期末株式数 24,244,463株(1:1.2の分割後の株式数によっております。)

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	185	371	252	5,087
17年3月期第1四半期	631	52	373	4,129
(参考)17年3月期	1,721	316	48	5,895

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状態は次の通りであります。(金額の比較は何れも平成17年3月期末との比較であります。)

資産の部においては、流動資産が2億47百万円減少いたしました。これは田沼倉庫の隣地取得費の一部残金の支払いと配当金、納税等の資金流出により、現金及び預金が8億7百万円減少し、棚卸資産の2億92百万円の増加と売掛金が1億50百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は2億38百万円増加いたしました。これは有形固定資産(田沼倉庫土地)の増加等によるものであります。資産全体では、9百万円減少し総額297億96百万円となりました。

負債の部においては、流動負債が1億56百万円減少いたしました。これは未払法人税等が納税により7億62百万円減少しましたが、仕入れの増加に伴い買掛金が3億67百万円増加したこと等によるものであります。以上により負債合計は1億38百万円減少し50億8百万円となりました。

資本の部においては、利益剰余金が1億31百万円増加し、自己株式が3百万円増加しましたので自己株式の計上額が13百万円となり、資本合計は1億28百万円増加して247億87百万円となり自己資本比率は83.1%となりました。

当期中における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、1億85百万円減少いたしました。これは売上等の営業収入より仕入等の営業費用及び法人税等の納付額の支出合計が多かったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、3億71百万円減少いたしました。これは田沼倉庫(佐野市)隣地取得費用の一部残金の決済等のための支出によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、2億52百万円減少いたしました。これは期末配当金の支出によるものであります。

【参 考】

3. 平成18年3月期の業績予想(平成17年4月1日 ~ 平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	19,550	1,582	870
通期	41,700	3,965	2,264

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 93円39銭

注) 1:1.2の分割後の株式数 24,246,969株で算出しております。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成18年3月期の業績予想につきましては、平成17年5月16日発表の業績予想を修正しておりません。

[添付資料]

1 . (要約) 四半期貸借対照表

(単位 : 百万円、 %)

科 目	当四半期 (平成 18 年 3 月 期第 1 四半期末)	前年同四半期 (平成 17 年 3 月 期第 1 四半期末)	増 減		参 考 (平成 17 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産	14,396	13,405	991	7.4	14,644
現金預金	4,907	3,948	958	24.3	5,714
受取手形	819	775	44	5.7	808
売掛金	3,517	3,301	215	6.5	3,367
たな卸資産	4,341	4,142	199	4.8	4,049
繰延税金資産	194	214	19	9.3	194
その他	620	1,038	418	40.3	509
貸倒引当金	4	15	11	73.3	1
固定資産	15,399	15,074	324	2.2	15,161
有形固定資産	11,549	11,210	339	3.0	11,258
無形固定資産	55	62	7	11.3	55
投資その他の資産	3,794	3,801	7	0.2	3,848
繰延税金資産	150	142	8	5.6	150
再評価に係る繰 延税金資産	2,259	2,259			2,259
その他	1,391	1,404	13	0.9	1,446
貸倒引当金	7	5	2	40.0	7
資産合計	29,796	28,479	1,316	4.6	29,805
(負債の部)					
流動負債	4,304	4,535	230	5.1	4,460
支払手形	300	311	11	3.5	284
買掛金	2,504	2,478	25	1.0	2,137
未払金	498	405	92	23.0	366
未払法人税等	323	327	3	1.2	1,085
その他	678	1,012	334	33.0	586
固定負債	704	666	37	5.7	685
預り敷金保証金	236	228	8	3.5	236
退職給付引当金	74	60	14	23.3	67
役員退職慰労引当金	392	377	14	4.0	382
負債合計	5,008	5,201	193	3.7	5,146
(資本の部)					
資本金	1,405	1,405			1,405
資本剰余金	1,304	1,347	42	3.2	1,304
利益剰余金	25,328	23,780	1,547	6.5	25,197
土地再評価差額金	3,293	3,293			3,293
その他有価証券評価 差額金	56	47	8	19.1	56
自己株式	13	9	3	44.4	10
資本合計	24,787	23,277	1,509	6.5	24,659
負債・資本合計	29,796	28,479	1,316	4.6	29,805

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成18年3月 期第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月 期第1四半期)	増 減		参 考 (平成17年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	9,923	9,373	550	5.9	40,089
売上原価	6,784	6,260	524	8.4	26,975
売上総利益	3,138	3,112	26	0.8	13,114
販売費及び一 般管理費	2,430	2,370	60	2.5	9,553
営業利益	707	742	34	4.7	3,560
営業外収益	83	114	30	27.2	418
営業外費用	19	54	35	64.8	110
経常利益	772	802	30	3.7	3,869
特別利益					5
特別損失					4
税引前四半期 (当期)純利益	772	802	30	3.7	3,869
税金費用	348	358	10	2.8	1,659
四半期(当期) 純利益	424	443	19	4.3	2,209

3.(要約)四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成18年3月 期第1四半期)	前年同四半期 (平成17年3月 期第1四半期)	参 考 (平成17年3月期)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	185	631	1,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	371	52	316
財務活動によるキャッシュ・フロー	252	373	48
現金及び現金同等物に係る換算差額			3
現金及び現金同等物の増減額	808	309	1,456
現金及び現金同等物の期首残高	5,895	4,438	4,438
現金及び現金同等物の期末残高	5,087	4,129	5,895